

## 広島交響楽団第25回島根定期演奏会

指 揮 .. 高 関 健  
ヴァイオリン .. チャン・ユジン

七月二日(日) 午後二時開演

情報発信ボランティア 大庭 明 博

演奏曲目を簡単に紹介します

### ○ モーツァルト 歌劇「魔笛」序曲

「魔笛」はモーツァルトが僅か35年の短い生涯の最後の年に創作した、世界で最も多く公演されているオペラです。

「フィガロの結婚」や「ドン・ジョヴァンニ」と違って粗末な劇場で、大衆的なジャンルだったジングシュピール(土地の言葉・ドイツ語を使い、歌とセリフで作られる歌芝居)として作曲され、今日広く愛される傑作は上演されてきました。一見子供向けのメルヘンのようにも見える「魔笛」も、現代では様々に解釈もされて興味深いものがあります。序曲はオペラの中にもあらわれる象徴的な3つの和音で始まり、堂々とし、かつ楽

### ○ しみの予感にあふれています。

#### ○ メンデルスゾーン

#### ヴァイオリン協奏曲ホ短調

ヴァイオリン協奏曲と言えば鼻歌交じりにこの曲のメロディーが浮かぶ人も多いと思います。歌心あふれるベートーヴェン、第2楽章のオーボエ独奏のとても印象的なブラームス、とてもゴージャスで風格たつぷりのチャイコフスキーの作品とともに4大ヴァイオリン協奏曲と言われている。

冒頭、弦楽器のアルペジオの伴奏にのってヴァイオリンが切々と歌いだします。この上なく甘美で美しく

清らかなメロディーをオーケストラが彩っていきます。メンデルスゾーンの最も完成された作品の一つとしてロマン派の金字塔ともいうべき傑作で、そこはかかない憂愁が漂うとともに幸福感にもあふれていて味わい深いものがあります。

チャン・ユジンさんは90年韓国生まれの女流ヴァイオリニストで昨年の仙台国際音楽コンクールで優勝し、今後の活躍が期待されています。

### ○ ブラームス 交響曲第1番ハ短調

ブラームスは生涯に4曲の交響曲を残していて、昨年3月の第23回広島島根定期演奏会では交響曲第4番が演奏されています。実は彼の義母や弟の発言では、ブラームスはほかに何曲かの交響曲を作曲しているようですが、彼自身の自己批判において何れも破棄したようです。今回演奏される第1番はベートーヴェンの不滅の9曲に匹敵する作品をと思っていたブラームスが21年もの歳月を費やし誕生した作品です。ベートーヴェンを深く信奉して神のように崇めていた彼は、「苦悩から歓喜へ」と重厚かつ感動的な大作

を完成させ、それは今も高い人気を保ち続けています。



石見美術館企画展「芳年」

もう一つの「おもてなし」・・・  
それは「生け花」です。

生花グループ（ボランテニア）紹介

開館以来 グラントワの各入口、コーナ  
ー、お手洗いなど20数箇所に生花が飾ら  
れ、お客様のおもてなしに一役かっ  
ています。

この生け花は 多くの方々の善意とボ  
ランテニア（生花グループ）の努力に支え  
られています。

花瓶はボランテニアの方々が持ち寄つ  
たものや寄贈されたものを使用していま  
す。

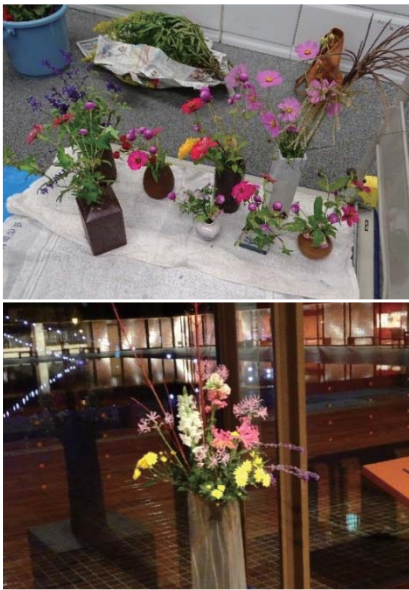
肝心のお花は善意ある方々から届けら  
れたものとボランテニアが持ち寄つたも  
のです。生花グループは毎週火曜日、金曜  
日を基本にボランテニア室で作業にあた  
っています。

特に夏場の水やりと花の少ない冬場の  
活動にはご苦労があるようです。

現在13名のメンバーで 大変和やかに  
活動しています。

生け花には 特に流派はないと聞いて  
います。関心のある方は参加と協力をお願  
いいたします。

（取材・撮影 飯塚哲也）



次回 企画展の情報  
企画展 キャプテン・クック探検航海と  
『バンクス花譜集』展  
2017年4月22日〔土〕——6月26日〔月〕  
島根県立石見美術館

・上記の写真は、生け花ボランテニアグループの活動風景・作品等です。

二月五日（日）石見美術館では「天才  
鬼才浮世絵師・芳年」の企画展が開催か  
れ、入り口ホールでは「平家琵琶の演奏  
会」が催され、多数の来館者が静かに聴  
いておられ、演奏終了後には、興味を持  
たれた方が琵琶にも触られて音色を確  
かめておられました。また、グラントワ  
の掲示板には、「地域の保育園の発表会、  
弦楽セミナー、市民吹奏楽団練習会、フ  
ラワーデザイナーズスクール作品展など」今  
日の催し予定があり、多数の参加者で駐  
車場も満杯でした。\*右の写真は「琵琶  
演奏会」の会場風景です。  
（洗川）

あ  
と  
が  
き

